

組織情報



No.899

2025年7月4日
JR東海ユニオン



「第34回定期大会」開催！

～ 鎌田新体制発足！向こう1年の運動方針を決定！ ～

「UNION FUTURE ⇒2027」を基軸に
組織の変化を強化につなげ
将来にわたる組合員・家族の幸せを実現しよう！

7月4日、中央本部は名古屋の地において、総勢約280名の仲間の結集のもと第34回定期大会を開催した。

冒頭、尾内中央執行委員長は、『不確実性の高い時代、いかなる困難や変化に直面しようとも、「将来宣言」に基づく労使関係をより健全で強固なものすることを大前提に、組合員一人ひとりが主体性を発揮の上、労働運動の営みを繰り返し、「将来にわたる会社の発展と組合員・家族の幸せ実現」に向け突き進んでいこう』と力強く呼びかけた。

「UNION FUTURE ⇒2027」に基づく運動が8年目を迎える中、これまで先達が築き上げ、強化し続けてきた「ユニオン運動」をより一層磨き上げながらも、運動をより進化させるために私たち自身も変化することを志向したうえで、全機関が「みんなでアクション！」を合言葉に、3つのアクションを柱に据えた運動を全員参画で力強く推進することを基調とした運動方針を提起した。その後、24名の代議員・特別代議員から、運動方針を補強する力強い発言を受け、執行部からの答弁ならびに今井書記長の総括答弁を経て、すべての議案が承認された。

なお、人事大会となる本大会において、長年にわたりユニオン運動を力強く牽引してきた尾内中央執行委員長、福森中央執行副委員長、今井書記長、谷口中央執行委員、石原中央執行委員、早川中央執行委員が、大会構成員の盛大な拍手のもと勇退した。

そして、鎌田中央執行委員長をはじめとした新たな役員体制が確立され、本大会の闊達な議論を通じ創り上げられた運動方針を、すべての組合員の参画によって具現化していく決意が語られた。

激動の時代、中央本部は、この転換期においても、責任組合としての矜持を胸に、労働組合としての基本的な営みに汗を流しつつ、変化をも志向し、「将来にわたる会社の発展と組合員・家族の幸せ実現」に向け、更なる組織の強化に邁進していく。

